



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）
水産研究部水産支援グループ 担当：木村・辻村
TEL：072-495-5252 FAX:072-495-5600

プレスリリース

令和3年7月7日 14:00

府政記者会 会員各位
関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

大阪湾でアカガイを放流します！ 生き残りや成長を調査中

環農水研水産技術センターでは、大阪湾の魚介類資源を増やすため、魚介類の稚魚を育てて、放流する「栽培漁業」を大阪府・栽培漁業センター※とともに推進しています。その一環として平成27年度よりアカガイの種苗放流を行っています。今年度の放流は下記のとおり行います。

水産技術センターは貝殻にペンキを塗布して放流し、放流個体の生き残りや成長などを調べるとともに、効果的な放流技術の確立を目指しています。

アカガイは寿司ネタとして有名ですが、市場に流通しているものの大半は海外産であり、国産のものは流通量が少なく高値で取引されています。大阪湾では現在年間10トン程度が水揚げされていますが、平成27年度以降に放流した個体が順調に漁獲されており、放流による漁獲量の増加が期待されます。また、アカガイは水中の懸濁物を食べるため、海の環境浄化作用も期待されます。

放流したアカガイは約2年で漁獲サイズ（殻長約8センチメートル）にまで成長し、府民の皆様の食卓に届くことになりそうです。

※ 公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場

記

放流種：アカガイ

放流個体数：10万個

放流サイズ：殻長3.1センチメートル（体重約7グラム）

放流予定日：7月8日（木曜日）、28日（水曜日）

※荒天により変更することがあります。

放流場所：堺市から岬町沖

※調査船「おおさか」の船上より放流します。

（次ページに写真資料）



標識を付けたアカガイ種苗



放流の様子



漁獲物中の放流個体（令和3年2月漁獲；丸印）
黄色の塗料によって平成30年放流個体であることがわかる